

IV 研究活動

農場では、教員と技術職員が一体となってフィールド農学に関わる様々な研究および技術開発を推進している。また、農場は、フィールド農学の研究施設として、学部教員あるいは学部学生や大学院生の研究に広く活用され、その成果は分子生物学から農業現場直結型まで広い範囲に亘っている。

1 研究課題

1) 農場の研究課題

- ・ヤムイモ類の生理生態学的研究
- ・熱帯・亜熱帯性植物の導入と順化

2) 農場施設を利用した学部研究室の研究課題

(1) 学内農場農事部圃場を利用した研究課題

(作物学研究室)

- ・カンショの品質、栽培法及び生産性に関する研究
- ・水稻の温度反応に関する研究
- ・水稻の遺伝資源に関する研究

(熱帯作物学研究室)

- ・キャッサバ栽培特性の把握
- ・雑種マメ科作物の窒素固定に関する実験

(植物育種学研究室)

- ・アワの形態調査と品種保存
- ・アワの突然変異に関する遺伝分析
- ・水稻の耐病性に関する遺伝分析 (FSRC：田浦教授との共同研究)
- ・種々の作物の成長モードに関する実験 (植物分子：岡本准教授との共同研究)
- ・ジネンジョとウコンの遺伝解析に関する研究 (遠城教授、石橋准教授との共同研究)

(果樹園芸学研究室)

- ・極早生ウンシュウとボンカンの根域制限試験及びボンカンとタンカンの炭化物施用試験
- ・ボンカン、キンカン、実験材料の栽培
- ・ブルーベリーの栽培
- ・研究供試用のコンテナ及びポット植えのボンカン、タンカン等100樹を置くため
- ・マスカデインブドウ (繁殖試験用) の試作
- ・食用タラの木の栽培及び除草剤適用試験

(蔬菜園芸学研究室)

- ・桜島ダイコンの育種
- ・ウリ科作物の系統間比較
- ・クルクマ属植物成長に関する研究 (遠城教授との共同研究)

(観賞園芸学研究室)

- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種
- ・ツバキ属植物の花色の遺伝
- ・トルコギキョウの新花色の育種
- ・トルコギキョウの花型・花色の育種と切り花生産

(害虫学研究室)

- ・昆虫ウイルスによるチャノホソガの防除
- ・温度条件がチャノコカクモンハマキの成育に及ぼす影響
- ・露地ナスにおける土着天敵を利用した害虫防除体系の確立
- ・ハモグリバエ抵抗性キク品種に対するハモグリバエの適応
- ・野菜に発生するハダニ類及びそれらの天敵の生態
- ・昆虫ウイルスによるイラクサギンウワバ及びアワヨトウの防除

(農業環境情報システム学研究室)

- ・さとうきび栽培体系の高度化に関する研究

- ・分光反射特性によるスギの生育調査
- ・リモートセンシング手法を用いたサツマイモの生育推定に関する基礎的研究

(家畜管理学研究室)

- ・合鴨農法による有色米および飼料米の栽培に関する研究
- ・山羊に対する飼料刷り込みおよびその放牧地雑草抑圧への応用の可能性（平成24年9月30日まで：平成21年度第1回施設利用委員会承認済み）
- ・地域未利用資源の飼料化に関する研究：サイレージ調製及び消化・代謝試験

(理工学研究科（理学系）生命化学科)

- ・Sustainable Campus Project (SCP) の活動として、生協生ゴミ堆肥を活用した野菜の栽培、および商品化による学内循環システムの構築に関する研究

(遺伝子実験施設)

- ・イネ遺伝資源の栽培実験
- ・イネ白葉枯病抵抗性に関する研究

(2) 唐湊果樹園を利用した研究課題

(果樹園芸学研究室)

- ・果樹栽培における炭化物利用に関する試験
- ・タンカン果実の発育と成熟に影響する要因の解明試験
- ・タンカンとボンカン果実の発育および成熟の比較試験
- ・タンカンとボンカン果実の発育と成熟比較および光合成速度の季節的变化に関する試験
- ・果実発育および品質向上に関する試験
- ・パッションフルーツの樹体発育、花芽分化及び結実に関する試験及びタンカンの台木試験用育苗
- ・タンカンの着果負担試験用ポット置き場
- ・タンカンの台木試験用ポット置き場
- ・新規除草剤の適用試験
- ・奄美諸島在来カンキツの特性解明
- ・カンキツの不和合性に関する研究
- ・カンキツ類の進化および種分化に関する研究
- ・アセロラの栽培・育種技術の改良

(植物栄養・肥料学研究室)

- ・下水汚泥堆肥を用いた秋冬野菜の栽培実証試験

(理工学研究科（理学系）生命科学科)

- ・焼酎粕と生ゴミ残渣をミミズによって分解・堆肥化し、サツマイモを栽培する。

(3) 指宿植物試験場を利用した研究課題

(附属農場)

- ・キャッサバの生育に関する研究（卒業研究）
- ・トゲドコロの感温性（修士論文）
- ・ムラサキダイジョの生育に関する研究（卒業研究）
- ・ヤムイモ倍数性の検討（卒業研究）
- ・ヤムイモ及びジャトロファの栽培研究（申請者研究）
- ・トゲドコロの植物ホルモンに対する生育反応（修士論文）

(4) 入来牧場を利用した研究課題

(家畜管理学研究室)

- ・山羊放牧による草地強害雑草（エゾノギシギシ）の防除に関する研究
- ・草並びに地域未利用資源を利用した黒毛和牛の放牧肥育に関する研究
- ・竹材サイレージ・エコフィード給与による育成牛の飼養試験
- ・各種防護柵に対するニホンジカの行動反応の解析
- ・採草地へのシカ侵入防除に関する研究
- ・山羊放牧による野草地の牧草地化に関する研究
- ・飼料採食競合の緩和に関する研究

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜繁殖学実験

(臨床病理学研究室)

- ・黒毛和種のライソゾーム蓄積病の原因解明
- ・入来牧場の牛白血病ウイルスの遺伝子型ならびに牛の抗病性遺伝子型の調査
- ・肝生検材料を利用した常在微生物の調査

(5) 学内農場畜産部を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理と遺伝子改変家畜作成に関する研究

(家畜管理学研究室)

- ・家畜の行動管理に関する研究
- ・未利用資源の飼料化に関する研究
- ・応用動物学実験，卒業論文，家畜生産学特別研究

(家畜育種学研究室)

- ・家禽を用いた遺伝育種学的研究
- ・日本ウズラに関する遺伝育種学的研究

(食品分子機能学研究室)

- ・食品成分（ビワ茶，黒酢粕，焼酎粕など）の機能解析：アレルギー抑制効果，移植ガン細胞の増殖抑制，脂質代謝改善効果，肥満抑制効果 など

(栄養生化学・飼料化学研究室)

- ・共役リノール酸の栄養生理機能に関する研究
- ・走行運動が骨格筋のタンパク質分解関連遺伝子に及ぼす影響
- ・オボアルブミンの脂質代謝改善作用
- ・焼酎粕の飼料化に関する研究

2 研究成果

1) 農場 (2010)

(1) 論文

Das, C., B. C. Roy, I. Oshima, H. Miyachi, S. Nishimura, H. Iwamoto and S. Tabata. 2010. Collagen content and architecture of the pectoralis muscle in male chicks and broilers reared under various nutritional conditions. *Animal Science Journal*, 81: 252-263

(2) 口頭発表

荻原美波・大島一郎・石本智愛・今成麻衣・工藤健一・西村正太郎・田畑正志・西海理之・門脇基二・藤村 忍. 2009. 食肉品質に対する食餌性プロリンの効果. 日本畜産学会第110回大会, III29-05. (神奈川県藤沢市)

2) 農場を利用した研究成果 (2010)

(1) 論文

Fukunaga K, Ichitani K, Kawase M. 2010. rDNA polymorphism of foxtail millet (*Setaria italica* ssp. *italica*) landraces in northern Pakistan and Afghanistan and in its wild ancestor (*S. italica* ssp. *viridis*) *Genetic Resources and Crop Evolution Online First*TM, 1 October 2010

岩本由紀江・坂巻祥孝・津田勝男. 2010. チャドクガに対する浸透移行性殺虫剤の株下散布および土壌施用の効果 鹿児島大学農学部学術報告. 60, 7-14

島内 円夏・上和田秀美・福田 健・津田 勝男・坂巻 祥孝・櫛下町鉦敏. 2010. 性フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の捕獲に対する風速の影響 南太平洋研究. 60, 13-21

田野飛・坂巻祥孝・櫛下町鉦敏・今給黎征郎. 2010. 鹿児島県育成キク品種「きゅらキッズ」のマメハモグリバエに対する抵抗性農業生産技術管理学会誌. 16, 123-126

工藤美雪・河邊弘太郎・大久津昌治・岡本 新・山口 浩・安江 博・前田芳實・下桐 猛. 家畜・家禽のゲノム DNA 抽出におけるガラスろ紙法の検討. 鹿児島大学農学部附属農場研究報告. 32: 13-17 (2010)

Shimogiri T., Msalya G., Myint S.L., Okamoto S., Kawabe K., Tanaka K., Mannen H., Minezawa M., Namikawa T., Amano T., Yamamoto Y. and Maeda Y., Allele distributions and frequencies of the six prion protein gene (PRNP) polymorphisms in Asian native cattle, Japanese breeds, and mythun (*Bos frontalis*), *Biochemical Genetics*, 48: 829-39

(2010)

Myint S.L., Shimogiri T., Kawabe K., Hashiguchi T., Maeda Y. and Okamoto S., Characteristics of seven Japanese native chicken breeds based on eggwhite protein polymorphisms., Asian-Australasian Journal of Animal Science, 23: 1137-44 (2010)

高山耕二・梅木美穂・伊村嘉美・大浦昭寛・松本信助・中西良孝. 2010. トウフ粕サイレージの給与がつしま地鶏の飼料利用性ならびに産肉性に及ぼす影響. 鹿児島大学農学部農場研究報告. 32, 19-25

高山耕二・萬田正治・中西良孝. 貯卵環境の違いが合鴨卵の孵化率に及ぼす影響. 鹿児島大学農学部学術報告. 60, 29-34

高山耕二・伊方 萌・溝口由子・根元紘史・剥岩 裕・萬田正治・中西良孝. 梨園に放飼したガチョウの成長と産肉能力. 有機農業研究. 1(2): 24-31

(2) 口頭発表

竹本祐真・飯山光太郎・白田祐希・田浦 悟・佐藤宗治・一谷勝之. 2010. イネ雑種黄化原因遺伝子 *hca1*, *hca2* の高密度連鎖解析. 日本育種学会第117回講演会要旨集. 329

飯山光太郎・竹本祐真・田浦 悟・佐藤宗治・一谷勝之. 2010. イネ品種 Jamaica と IR36 との交雑後代に見られた雑種崩壊現象に関わる遺伝子の連鎖分析. 日本育種学会第117回講演会要旨集. 316

重山貴文・一谷勝之・河邊弘太郎・佐藤宗治・田浦 悟. 2010. イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 Xa14 のマッピング. 日本育種学会第117回講演会要旨集. 328

Ichitani K, Kuboyama T. 2010. Fine mapping of *HWC2*, a causal gene of hybrid weakness in rice, and the relationship between varietal differentiation and DNA polymorphism of the surrounding chromosomal region. International Symposium of Cell-Cell Communication in Plant Reproduction: from pollination to fertilization 142

柿元亮平・Kouassi N'G. Lucien・津田勝男・坂巻祥孝. 2010. 九州病害虫研究会第79回研究発表会. イラクサギンウワバ細胞質多角体病ウイルスの病原性と特性についてイラクサギンウワバ細胞質多角体病ウイルスの病原性と特性について

川口侑子・坂巻祥孝・津田勝男・柿元一樹. 2010. 九州病害虫研究会第79回研究発表会. 天敵カブリダニ類の 18SrRNA 遺伝子領域の PCR-RFLP 法による種判別

飛松 諒・津田勝男・坂巻祥孝. 2010. 九州病害虫研究会第79回研究発表会. ウドンコ病がスワルスキーカブリダニに及ぼす影響

福留啓仁・坂巻祥孝・津田勝男. 2010. 九州病害虫研究会第79回研究発表会. 楕円フーリエ記述子を用いた Trichogramma 属 4 種の雌成虫での種同定法の検討

松島友章・坂巻祥孝・津田勝男. 2010. 九州病害虫研究会第79回研究発表会. 高温およびハチミツの給餌がマメハモグリバエとトマトハモグリバエの増殖に与える影響

吉永 悠・坂巻祥孝・白山竜次・津田勝男. 2010. 九州病害虫研究会第79回研究発表会. マメハモグリバエに対するキク16品種の抵抗性

Takeshi Shimogiri, Nao Nishida, Koichi Shibata, Miyuki Kudoh, Naohiro Nagasaka, Masahide Nishibori, Shin Okamoto, Katsushi Tokunaga and Hiroshi Yasue. 2010年7月27日. Genetic relationships among chicken and junglefowl populations using 77 autosomal SNPs by DigiTag2 assay 32nd Conference of the International Society for Animal Genetics Edinburgh Conference center (英国エジンバラ)

Si Lhyam Myint, Takeshi Shimogiri, Kotaro Kawabe, Tsutomu Hashiguchi, Yoshizane Maeda and Shin Okamoto. 2010年7月27日. Characteristic of seven Japanese native chicken breeds based on eggwhite protein polymorphisms 32nd Conference of the International Society for Animal Genetics Edinburgh Conference center (英国エジンバラ)

下桐 猛・山本智士・河邊弘太郎・西堀正英・岡本 新・前田芳實・小林圭子・安江 博. 2010年10月6日. ニワトリ 2 クリスタリン遺伝子の発現に関する研究 2. 日本動物遺伝育種学会第11回大会 (独) 家畜改良センター (福島県西白河郡)

山本 快・下桐 猛・河邊弘太郎・紙屋徹士・岡本 新. 2010年10月16日. ニワトリ InDel マーカーを用いたさつま地鶏特異的マーカーの作出に関する研究. 第3回日本暖地畜産学会大分大会. 別府亀の井ホテル (大分県別府市)

徳永秀人・下桐 猛・杉山智映・河邊弘太郎・岡本 新. 2010年10月16日. 黒色銘柄鶏作出に関する研究. 第3回日本暖地畜産学会大分大会. 別府亀の井ホテル (大分県別府市)

高山耕二・広瀬啓介・花田信太郎・主税裕樹・野村哲也・田浦一成・城戸麻理・富永 輝・中西良孝. 2010. 電気柵に対する放牧ヤギの行動反応. 第11回日本山羊研究会. 5-6

主税裕樹・高橋 浩・高山耕二・中西良孝. 2010. 山羊群における飼育密度が飼料採食競合に及ぼす影響. 第11

回日本山羊研究会. 7-8

- 高山耕二・内富大輔・主税裕樹・花田信太郎・溝口由子・根元紘史・福永大悟・中西良孝. 2010. 耕作放棄水田跡地におけるガチョウならびにヤギの除草利用. 日本畜産学会第112回大会. 139
- 吉田美代・高山耕二・石井大介・廣瀬 潤・片平清美・中西良孝・赤井克己. 2010. 電気柵による牧場採草地へのシカ侵入に関する研究. 日本家畜管理学会・応用動物行動学会2010年度合同研究発表会. 29
- 主税裕樹・高橋 浩・大島一郎・高山耕二・中西良孝. 2010. 飼槽の数が山羊群の飼料採食競合に及ぼす影響. 第3回日本暖地畜産学会大分大会. 262
- 溝口由子・根元紘史・高山耕二・中西良孝. 2010. ガチョウ雛への緑餌給与が羽毛つづきの発生に及ぼす影響. 第3回日本暖地畜産学会大分大会. 263
- 中西良孝・岩成文子・伊村嘉美・高山耕二・来海芳久. 2010. 資源循環型畜産を推進するための食品製造副産物の飼料利用 くま笹エキス残渣のサイレージ化. 第11回日本有機農業学会大会. 112-114
- 溝口由子・高山耕二・水本明男・中西良孝. 2010. ブルーベリー園におけるガチョウの除草利用. 第11回日本有機農業学会大会. 109-111

(3) 博士論文

(4) 修士論文

- 重山貴文. 2010. イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 *Xa14* のマッピング
- 高須有希子. 2010. イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 *Xa1* 及び *Xa2* の染色体上の位置と遺伝子発現
- Aye Aye Maw. 2010年3月. ニワトリゲノム由来インデルマーカーの作出
- 工藤美雪. 2010年3月. ニワトリ SNPs 検出システムの確立と利用に関する研究
- 角崎智洋. 2010年3月. 日本ウズラの卵白リゾチームに関する遺伝学的研究
- 山本尚代. 2010年3月. In/Del マーカーを用いたニワトリの遺伝学的研究
- 飯盛 葵. 2010. 解繊処理竹材サイレージの肉用牛生産への利用に関する研究
- 主税裕樹. 2010. 山羊群における飼料採食競合の緩和方法の開発に関する研究
- 花田信太郎. 2010. 山羊放牧による草地および水田畦畔の植生管理に関する研究

(5) 卒業論文

- 竹本祐真. 2010. イネ雑種黄化原因遺伝子 *hca1*, *hca2* の高密度連鎖解析
- 飯山光太郎. 2010. イネ品種 Jamaica と IR36 との交雑後代に見られた雑種崩壊現象に関わる遺伝子の連鎖分析
- 瀬脇和弥. 2010. イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統の抵抗性遺伝子のマッピング
- 柿元亮平. 2010. イラクサギンウワバ細胞質多角体病ウイルスの病原性と同定
- 川口侑子. 2010. フスマを周辺土壌に施用した露地ナス上における害虫・天敵昆虫相の発生調査及び天敵カブリダニ5種のPCR-RFLP法による種判別
- 飛松 諒. 2010. ウドンコ病がスワルスキーカブリダニに与える影響
- 福留啓仁. 2010. 楕円フーリエ記述子を用いた Trichogramma 属4種の雌成虫での種同定法の検討
- 堀 瑞紀. 2010. チャノホソガ顆粒病ウイルス (CiGV) の効率的な増殖体系の検討及び遺伝子解析
- 松島友章. 2010. 温度およびハチミツの給餌がマメハモグリバエとトマトハモグリバエの増殖に与える影響
- 吉永 悠. 2010. マメハモグリバエ加害に対するキク16品種の抵抗性
- 大津留 都. 2010年3月. ニワトリ由来 in/del マーカーの日本ウズラ (*Coturnix japonica*) への応用
- 後藤雅昭. 2010年3月. 日本ウズラにおける脂質代謝制御遺伝子に関する研究
- 土原実紗. 2010年3月. 黒色羽装に関する分子遺伝学的研究
- 山本智士. 2010年3月. ニワトリデルタクリスタリン遺伝子の発現に関する研究
- 龍 可奈子. 2010年3月. キジ科における W 染色体由来共通マーカーの作出
- 小田早織. 2010. 麦焼酎粕の高度飼料利用に関する研究
- 島袋 卓. 2010. 合鴨農法におけるカラスならびにイタチ害防除に関する研究
- 白石 徹. 2010. サトウキビ副産物の飼料化とその評価に関する研究
- 高橋 浩. 2010. 山羊群における飼育密度が飼料採食競合に及ぼす影響
- 高山聡子. 2010. 食品製造副産物を主体とした発酵混合飼料の肉用繁殖牛への利用に関する研究
- 広瀬啓介. 2010. 電気柵に対する放飼山羊ならびにガチョウの行動反応
- 溝口由子. 2010. 緑餌給与ならびに草地放飼したガチョウの産卵能力
- 三宅希咲. 2010. 地域未利用資源を組み合わせた黒毛和種の放牧肥育に関する研究 - とくに12~24ヵ月齢の発育

成績 -

樂満大地. 2010. 合鴨受精卵の輸送が孵化成績に及ぼす影響

田邊明大. 2010. サトウキビ栽培体系の高度化 - 一芽苗植付け機の苗繰り出し機構に関する研究

(6) 著書

(7) 商業誌

3 研究助成

伊村嘉美 (分担) 「竹林バイオマスの農業・畜産業への有効活用による地域資源循環バランス科学研究費補助金 (基礎研究 (C))

4 学会等活動

日本熱帯農業学会, 日本作物学会, 園芸学会, 日本農作業学会, 日本育種学会, 日本草地学会, 畜産学会, 西日本畜産学会, 日本養豚学会

5 遺伝資源の保存

農場は, わが国における温暖地, 亜熱帯, 熱帯植物及びトカラ馬, 野生化牛などの希少動物の遺伝資源保存センターとしての機能を有する。各付帯施設で保有する遺伝資源は下記のとおりである。

1) 唐湊果樹園

唐湊果樹園では, 第22表に示すように, 落葉果樹11種類36品種・系統, 常緑果樹2種類125品種・系統, 熱帯・亜熱帯果樹9種類37品種・系統を保存している。

第22表 唐湊果樹園で保存している果樹遺伝資源リスト

樹種名, 学名または組み合わせ	品種・系統名
落葉果樹	
ナシ	
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	幸水
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	新興
モモ	
<i>Prunus persica</i> Sieb.	あかつき
<i>Prunus persica</i> Sieb.	日川白鳳
<i>Prunus persica</i> Sieb.	ちよひめ
スモモ	
<i>Prunus</i> sp.	メスレー
<i>Prunus</i> sp.	大石早生
ウメ	
<i>Prunus mume</i> Sieb.	南高
<i>Prunus mume</i> Sieb.	鶯宿
<i>Prunus mume</i> Sieb.	竜峡小梅
ブドウ	
<i>Vitis</i> sp.	キャンベル アーリー
<i>Vitis</i> sp.	デラウエア
<i>Vitis</i> sp.	ゴルビー
<i>Vitis</i> sp.	安芸クイーン
<i>Vitis</i> sp.	ロザリオ ロッソ
<i>Vitis</i> sp.	ロザリオ ピアンコ
<i>Vitis</i> sp.	翠峰
<i>Vitis</i> sp.	ハニー ピーナス
<i>Vitis</i> sp.	シャイン マスカット
<i>Vitis</i> sp.	瀬戸ジャイアンツ
カキ	
<i>Diospyrus kaki</i> L.	平核無

<i>Diospyrus kaki</i> L.	富有
<i>Diospyrus kaki</i> L.	次郎
<i>Diospyrus kaki</i> L.	禅寺丸
<i>Diospyrus kaki</i> L.	太秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	新秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	西村早生
<i>Diospyrus kaki</i> L.	マメガキ
<i>Diospyrus kaki</i> L.	ロウア柿
<i>Diospyrus kaki</i> L.	常葉柿
ブルーベリー	
<i>Vaccinium</i> sp.	ホームベル
<i>Vaccinium</i> sp.	ウッダード
<i>Vaccinium</i> sp.	ティフブルー
<i>Vaccinium</i> sp.	T100
<i>Vaccinium</i> sp.	クライマックス
<i>Vaccinium</i> sp.	パールリバー
<i>Vaccinium</i> sp.	オースチン
<i>Vaccinium</i> sp.	ブライトウェル
<i>Vaccinium</i> sp.	マグノリア
<i>Vaccinium</i> sp.	ジャージー
<i>Vaccinium</i> sp.	ブラッデン
<i>Vaccinium</i> sp.	ジョージアジム
<i>Vaccinium</i> sp.	オニール
<i>Vaccinium</i> sp.	シャープブルー
クリ	
<i>Castanea</i> Miller	筑波
<i>Castanea</i> Miller	三原系
<i>Castanea</i> Miller	丹沢
イチヨウ (ギンナン)	
<i>Ginkgo biloba</i> L.	藤九郎
<i>Ginkgo biloba</i> L.	嶺南
<i>Ginkgo biloba</i> L.	久寿
ザクロ	
<i>Punica granatum</i> L.	在来系
クワ	
<i>Morus</i> sp.	しだれぐわ
<hr/>	
常緑果樹	
ビワ	
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	白茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	長崎早生
カンキツ	
<i>Citrus macroptera</i> Mont.	カブヤオ
<i>C. hystrix</i> DC.	プルット
<i>C. latipes</i> (Swing.) Tan.	カシーバベダ
<i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	メキシカンライム
<i>C. limettioides</i> Tan.	スイートライム
<i>C. bergamia</i> Risso et Poit.	ベルガモット
<i>C. Montana</i> Tan.	ピロロ
<i>C. excelsa</i> Wester	レモンリアル
<i>C. medica</i> L.	ブッシュカン
<i>C. medica</i> L.	マルブッシュカン
<i>C. limon</i> (L.) Burm. f.	アレンユーレカ
<i>C. limetta</i> Risso	スイートレモン
<i>C. balotina</i> Poit. et Turp.	パロチンベルガモット

<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	安政柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩王柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	チャンドラー
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	はやさき
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	紅まどか
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	水晶文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩白柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	麻豆紅柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	土佐文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	大橘
<i>C. pseudogulgul</i> Hort. ex Shirai	ジャガタラユ
<i>C. paradise</i> Macf.	マーシュ シードレス
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	ハッサク
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	農間紅ハッサク
<i>C. medioglobosa</i> Hort. ex Tan.	ナルト
<i>C. natsudaiddai</i> Hayata	川野なつだいい
<i>C. natsudaiddai</i> Hayata	紅甘夏
<i>C. ampullaceal</i> Hort. ex Tan.	ヒョウカン
<i>C. yamabuki</i> Hort. ex Y. Tanaka	ヤマブキ
<i>C. sulcata</i> Hort. ex Takahashi	サンボウカン
<i>C. kawachiensis</i> Hort. ex Y. Tanaka	カワチバンカン
<i>C. aurantium</i> L.	カブス
<i>C. aurantium</i> L.	回青橙
<i>C. aurantium</i> L.	斑入りダイダイ
<i>C. myrtifolia</i> Rafin.	キノット
<i>C. rokugatsu</i> Hort. ex Y. Tanaka	ロクガツミカン
<i>C. canaliculata</i> Hort. ex Y. Tanaka	キクダイダイ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ハムリン
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	トロビタ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	オリンダ バレンシア
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	タロッコ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	モロ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ピラリマ
<i>C. tankan</i> Hayata	垂水1号
<i>C. iyo</i> Hort. ex Tanaka	宮内伊予柑
清家ネーブル × クレメンティン	ありあけ
宮川早生 × トロビタオレンジ	清見
交雑親不詳のタンゴール	マーコット
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	ヒュウガナツ
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	オレンジ日向
<i>C. aurea</i> Hort. ex Tan.	カワバタミカン
<i>C. ichangensis</i> Swing.	イーチャンジェンシス
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	山根
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	ユズ
<i>C. hanaju</i> Hort. ex Shirai	ハナユ
<i>C. sudachi</i> Hort. ex Shirai	スダチ
<i>C. spaerocarpa</i> Hort. ex Tan.	カボス
<i>C. nobilis</i> Lour.	クネンボ
<i>C. nobilis</i> Lour.	トークニン
<i>C. unshiu</i> Marc.	原木(4代目)
<i>C. unshiu</i> Marc.	青島温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	寿太郎温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	白川温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	十万温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	大津4号

<i>C. unshiu</i> Marc.	興津早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	宮川早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	かごしま早生
<i>C. keraji</i> Hort. ex Tan.	ケラジ
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	喜界ミカン
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	ナツクニン
<i>C. oto</i> Hort. ex Y. Tanaka	オートー
<i>C. reticulata</i> Blanco	吉田ボンカン
<i>C. reticulata</i> Blanco	薩州
<i>C. deliciosa</i> Ten.	地中海マンダリン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ゲンショウカン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ウスカワ
<i>C. tangerina</i> Hort. ex Tan	大紅ミカン
<i>C. clementina</i> Hort. ex Tan.	クレメンティン
<i>C. tachibana</i> (Mak.) Tan.	タチバナ
<i>C. kinokuni</i> Hort. ex Tan.	キノクニ
<i>C. sunki</i> Hort. ex Tan.	スンキ
<i>C. reshni</i> Hort. ex Tan.	クレオパトラ
<i>C. depressa</i> Hayata	シイクワシャー
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (甘)
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (辛)
<i>C. leiocarpa</i> Hort. ex Tan.	コウジ
<i>C. flaviculpus</i> Hort. ex Tanaka	キミカン
<i>C. sp.</i>	コズ
<i>C. sp.</i>	島みかん (黒島)
キング×地中海マンダリン	アンコール
クレメンティン×ダンシータンゼリン	フォーチュン
小西早生×フェアチャイルド	サガマンダリン
キング×ウンシュウミカン	カーラ
三保早生×クレメンティン	南香
今村温州×中野3号ボンカン	早香
クレメンティン×オランダ	ノバ
ミネオラ×クレメンティン	ページ
清見×中野3号ボンカン	陽香
清見×中野3号ボンカン	不知火
清見×ボンカンF - 2 4 3 2	はるみ
清見×アンコール	あまか
(清見×興津早生) ×ページ	天草
(清見×アンコール) ×マーコット	せとか
清見×興津早生	津之香
上田温州×ハッサク	スイートスプリング
ダンカングレープフルーツ×ダンシータンゼリン	ミネオラ
<i>C. madurensis</i> Lour.	シキキツ
<i>C. sp.</i>	辺塚ダイダイ
<i>C. sp.</i>	小林みかん
キンカン	キンズ
<i>Fortunella hindsii</i> (Champ.) Swing.	ナガキンカン
<i>F. margarita</i> (Lour.) Swing.	マルキンカン
<i>F. japonica</i> (Thumb.) Swing.	ニンボウキンカン
<i>F. crassifolia</i> Swing.	チョウジュキンカン
<i>F. obovata</i> Tan.	ぶちまる
<i>F. margarita</i> X <i>F. crassifolia</i>	
カラタチ	
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ルビドー
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ヒリュウ

カンキツ近縁属

Microcitrus X *C. madurensis*

ファウストリメディン

熱帯・亜熱帯果樹

マンゴー

Mangifera indica L.

アーウィン

Mangifera indica L.

ゴールドデン リッペンス

Mangifera indica L.

ナム ドク マイ

Mangifera indica L.

メライン

パッションフルーツ

Passiflora edulis Sims

サマークイーン

Passiflora edulis Sims

ルビースター

Passiflora edulis Sims

アマミノジャンボウ

アセロラ

Malpighia emergunata DC.

ハワイアン クイーン

Malpighia emergunata DC.

レッド ジャンボ

Malpighia emergunata DC.

トロピカル ルビー

Malpighia emergunata DC.

レーンボルグ

Malpighia emergunata DC.

マウナウィリ

Malpighia emergunata DC.

ハワイアン

アボカド

Persea americana Mill

フエルテ

ゴレンシ

Averrhoa carambola L.

ナナ スター

Averrhoa carambola L.

ボゴール

Averrhoa carambola L.

マレーシア

Averrhoa carambola L.

二林軟枝

Averrhoa carambola L.

竹葉

Averrhoa carambola L.

バンコク

Averrhoa carambola L.

カギ

シロサボテ

Casimiroa edulis La Llave

マリブ

キャンディー

ピタヤ

Hyocereus L.

黄色系

赤色系

リュウガン

Euphoria longan Stend

N93-6

カーラ

ハエウ

シーチョンブー

エワイ

ビオキウ

サキップ

タイウエン

フンカク

2) 指宿植物試験場

当場では1918年の設置以来、現在に至るまで、熱帯・亜熱帯植物の収集・保存を行い、教育研究に利用するとともに、地域への普及を行っている。これまで、マンゴー、パッションフルーツなどの熱帯果樹類や熱帯産ヤムイモなどが、南九州で特産化されている。

遺伝資源植物として保存している植物数は、品種や系統も含めると約1,500種類である。これらは、鉢や露地植えで保存されており、面積ベースでは、温室の40%、ビニルハウスの32%、圃場の50%である。単純計算であるが、教職員はこれら遺伝資源植物の維持、管理に全体の作業の40%程度の時間を割いていることになる。一方で、遺伝資源植物からの収入は、全体の10%程度である。

遺伝資源植物の保存、評価、利用なども附属農場の重要役割のひとつであるが、教職員数と比較した場合の労力や

予算的な面からもほぼ限界の状況である。とくに果樹類などは実生系など品種が明確でないものも多く、それらは、結実が見られないものも多い。地域農業への貢献のためにも、明確な品種と生産性の可能性がある熱帯・亜熱帯果樹類への切り替えを進めている。

第23表 指宿植物試験場で保存している主な植物遺伝資源リスト

科 名	和 名	学 名
アオイ	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i> Sieb. et Zucc.
アオイ	フウリンブツソウゲ	<i>Hibiscus schizopetalus</i> (M. T. Mast.)
アオイ	ハイビスカス	<i>Hibiscus</i> spp.
アオイ	ヒメブツソウゲ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>drummondii</i> (Torr. et A. Gray) Schery
アオイ	ウナズキヒメフヨウ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>mexicanus</i> Schlechtend.
アオギリ	ピンボンノキ	<i>Sterculia nobilis</i> Sm.
アカテツ	サボジラ	<i>Achras zapota</i> L.
アカテツ	クダモノタマゴ	<i>Lucuma nervosa</i> A.D.C.
アカテツ	スイショウガキ	<i>Chrysophyllum cainito</i> Linn.
アカテツ	ミラクルベリー	<i>Synsepalum dulcificum</i> Daniell
アカテツ	アビウ	<i>Pouteria caimito</i>
アカネ	サントanka	<i>Ixora chinensis</i> Lam.
アカネ	イクソラ・ダフィー	<i>Ixora duffii</i> T. Moore
アカネ	コーヒーノキ	<i>Coffea</i>
アヤメ	アメリカシャガ	<i>Neomarica northiana</i>
イネ	レモングラス	<i>Cymbopogon citratus</i> (DC.) Stapf
イネ	スズコナリヒラ	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino f. <i>albostrigata</i> Muroi
イイギリ	ラブリーアップル	
イラクサ	ペリオニア	<i>Pellionia</i> spp.
イラクサ	アサバソウ	<i>Pilea cadieri</i> Gagnep. et Guillaum.
ウコギ	ホンコンカボック	<i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Hayata ex Kaneh.
ウラボシ	コウモリラン	<i>Platyserium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr.
ウルシ	マンゴー	<i>Mangifera indica</i> L.
オシロイバナ	ブーゲンビレア	<i>Bougainvillea</i> spp.
オトギリソウ	マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i> L..
ガガイモ	スタベリア	<i>Stapelia</i> spp.
ガガイモ	ギムネマシルベスタ	<i>Gymnema sylvestre</i>
カキノキ	ブラックサボテ	<i>Diospyros ebenaser</i>
カタバミ	スターフルーツ	<i>Averrhoa carambola</i> L.
カヤツリグサ	カミガヤツリ	<i>Cyperus papyrus</i> L.
キツネノマゴ	ルリハナガサ	<i>Eranthemum pulchellum</i> Andr.
キツネノマゴ	シロアミメグサ	<i>Fittonia verschaaffeltii</i> (Lem.) van Houtte var. <i>argyroneura</i> (Coem.) Nichols.
キツネノマゴ	アトロプルブレウム	<i>Pseuderanthemum atropurpureum</i> (Bull) L. H. Bailey

キツネノマゴ	コダチヤハズカズラ	<i>Tunbergia erecta</i> (Benth.) T. Anderson
キツネノマゴ	ベンガルヤハズカズラ	<i>Tunbergia grandiflora</i> (Rosb. ex Rottl.) Rpxb.
キョウチクトウ	アデニウム	<i>Adenium</i> spp.
キョウチクトウ	オオバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> L.
キョウチクトウ	ヒメアリアケカズラ	<i>Allamanda neriifolia</i> Hook.
キョウチクトウ	コバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> cv. <i>Grandiflora</i> .
キョウチクトウ	セイヨウキョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L.
キョウチクトウ	キバナキョウチクトウ	<i>Thevetia peruviana</i> (Pers.) K. Schum.
キントラノオ	アセロラ	<i>Malpigia glabra</i> L.
クスノキ	アボカド	<i>Persea americana</i> Milll.
クマツヅラ	ハリマツリ	<i>Duranta repens</i> L.
クマツヅラ	チャイニーズハット	<i>Holmskioldia sanguinea</i> Retz.
クマツヅラ	ランタナ	<i>Lantana camara</i> L.
クマツヅラ	コバナランタナ	<i>Lantana montevidensis</i> (K. Spreng.) Briq.
クマツヅラ	ペトレア	<i>Petrea vollubilis</i> L..
クロウメモドキ	インドナツメ	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.
クロウメモドキ	ナツメ	<i>Zizyphus jujuba</i> var. <i>inermis</i>
クワ	カンテンイタビ	<i>Ficus awkeotsang</i> Makino
クワ	インドゴムノキ	<i>Ficus elastica</i> Roxb. ex Hornem.
クワ	カシワバゴム	<i>Ficus lyrata</i> Warb.
クワ	ガジュマル	<i>Ficus microcarpa</i> L. f.
クワ	オオイタビ	<i>Ficus pumila</i> L.
クワ	アコウ	<i>Ficus superba</i> Miq. var. <i>japonica</i> Miq.
クワ	バラミツ	<i>Artocarpus heterophyllus</i> .
ゴマノハグサ	ハナチョウジ	<i>Russelia equisetiformis</i> Schlechtend et Cham.
サトイモ	ヒトスジグサ	<i>Aglaonema costatum</i> N. E. Br.
サトイモ	アグラオネマ	<i>Aglaonema</i> spp.
サトイモ	クワズイモ	<i>Alocasia odora</i> K. Koch
サトイモ	オオベニウチワ	<i>Anthurium andreaeanum</i> Linden corr. Andre
サトイモ	サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott
サトイモ	ジャイアントスワンブタロ	<i>Cyrtosperma chamissonis</i> (Schott) Merrill
サトイモ	ホウライショウ	<i>Monstera deliciosa</i> Liebm.
サトイモ	マドカズラ	<i>Monstera friedrichsthali</i> Schott
サトイモ	スパティフィラム	<i>Spathiphyllum</i> spp.
サボテン	ドラゴンフルーツ	<i>Hylocereus undatus</i>
シソ	クミスクチン	<i>Orthosiphon aristatus</i> (Blume) Miq.
シノブ	タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) K. Presl
ショウガ	ゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B. L. Burtt et R. M. Sm.
ショウガ	キフゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B. L. Burtt et R. M. Sm. ‘Variegata’
ショウガ	フクジンソウ	<i>Costus speciosus</i> (J.Konig) Sm.
ショウガ	キョウオウ	<i>Curcuma aromatica</i> Salisb.
ショウガ	ウコン	<i>Curcuma longa</i> L.
ショウガ	ガジュツ	<i>Curcuma zedoaria</i> (Christm) Roscoe

研究活動

タデ	ハマベブドウ	<i>Coccoloba uvifera</i> .
ソテツ	ナンヨウソテツ	<i>Cycas circinalis</i> L.
ソテツ	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.
ツツジ	ケラマツツジ	<i>Rhododendron scabrum</i> G. Don
ツククサ	ムラサキオモト	<i>Rhoeo spathacea</i> (Swartz) Stearn
トウダイグサ	クロトン	<i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume
トウダイグサ	ハナキリン	<i>Euphorbia milii</i> Desmoul. var. <i>splendens</i> (Bojer ex Hook.) Ursch et Leandri
トウダイグサ	アオサンゴ	<i>Euphorbia tirucalli</i> L.
トウダイグサ	ナンヨウザクラ	<i>Jatropha integerrima</i> Jacq.
トウダイグサ	サンゴアブラギリ	<i>Jatropha podagrica</i> Hook.
トウダイグサ	セッカギンリュウ	<i>Pedilanthus tithymalodes</i> (L.) Poit.
トケイソウ	ムラサキクダモノトケイソウ	<i>Passiflora edulis</i> Sims.
トケイソウ	パッションフルーツ	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>
ナス	ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia australis</i> Benth.
ナンヨウスギ	シマナンヨウスギ	<i>Araucaria heterophylla</i> (Salisb.) Franco
ノウゼンカズラ	ハリミノウゼン	<i>Clytostoma callistegioides</i> (Cham.) Bur.
ノウゼンカズラ	ジャカラнда	<i>Jacaranda</i> sp.
ノウゼンカズラ	イペ	<i>Tabebuia</i> sp.
パイナップル	パイナップル	<i>Ananas comosus</i> (Linn.) Merr.
パイナップル	チランジア	<i>Tillandsia</i> spp.
バショウ	バナナ	<i>Musa</i> spp.
バショウ	ニコライ	<i>Strelitzia niccolai</i> Regel et Korn.
バショウ	ゴクラクチョウカ	<i>Strelitzia reginae</i> Ait.
バショウ	ユンケア	<i>Strelitzia reginae</i> var. <i>junceae</i> (Ker-Gawl.) H. E. Moore
パパイヤ	パパイヤ	<i>Carica papaya</i>
バラ	ヒメシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> (Hook. et Rehd)
パンヤ	パキラ	<i>Pachira aquatica</i> Aubl.
パンヤ	トックリキワタ	<i>Chorisia speciosa</i>
バンレイシ	チェリモヤ	<i>Annona cherimola</i> Mill.
バンレイシ	アテモヤ	<i>Annona atemoya</i> hort.
バンレイシ	イランイラン	<i>Cananga odorata</i>
ヒガンバナ	クンシラン	<i>Clivia miniata</i> Regel
ヒガンバナ	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Bak.
ヒユ	アルテナンテラ	<i>Alternanthera ficoidea</i> (L.) R. Br. ex Roem. Et Schult.
フトモモ	キンボウジュ	<i>Callistemon speciosus</i> (Sims) DC.
フトモモ	ユーカリノキ	<i>Eucalyptus</i> spp.
フトモモ	ビタンガ	<i>Eugenia michelii</i> Lam.
フトモモ	サンドロップス	<i>Eugenia Victoriana</i> .
フトモモ	フェイジョア	<i>Feijoa sellowiana</i> O. Berg.

フトモモ	メラレウカ	<i>Melaleuca</i> spp.
フトモモ	ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.
フトモモ	テリハバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab.
フトモモ	キミノバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab. Var. <i>lucidum</i> hort.
フトモモ	グァバ	<i>Psidium guajava</i> L.
フトモモ	レンブ	<i>Syzygium Samarangense</i>
フトモモ	ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i> Alston
フトモモ	フトモモ	<i>Syzygium jambos</i> (L.) Alston
フトモモ	ジャボチカバ	<i>Myracia couliflora</i> O.Berg
ベンケイソウ	カゲツ	<i>Crassula portulacea</i> Lam.
ベンケイソウ	カランコエ	<i>Kalanchoe blossfeldiana</i> Poelln.
マメ	ソウシジュ	<i>Acacia confusa</i> Merrill
マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.
マメ	バウヒニア	<i>Bauhinia</i> spp.
マメ	カリアンドラ	<i>Calliandra</i> spp.
マメ	コパノセンナ	<i>Cassia coluteoides</i> Collad.
マメ	ナンバンサイカチ	<i>Cassia fistula</i> L.
マメ	サンゴシトウ	<i>Erythrina</i> × <i>bidwillii</i> Lindl.
マメ	アメリカデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L.
マメ	マルバデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L. 'Maruba-Deiko'
マメ	デイゴ	<i>Erythrina variegata</i>
マメ	ヒスイカズラ	<i>Strongylodon macrobotrys</i> .
ミカン	シロサボテ	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.
ミソハギ	メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i> H. B. K.
ミソハギ	ハナヤナギ	<i>Cuphea micropetala</i> H. B. K.
ムクロジ	リュウガン	<i>Euphoria longan</i> Lam.
ムクロジ	ライチ	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.
モクセイ	シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C. B. Clarke
モクセイ	ハゴロモジャスミン	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.
モクマオウ	モクマオウ	<i>Casuarina stricta</i> Ait.
ヤシ	アカントフィラ	<i>Aiphanes acanthophylla</i> (Mart.) Burret
ヤシ	ユスラヤシ	<i>Archontophoenix alexandrae</i> (F. J. Muell.) H. Wendl. et Drude
ヤシ	ビンロウジュ	<i>Areca catechu</i> L.
ヤシ	ジョオウヤシ	<i>Arecastrum romanzoffianum</i> (Cham.) Becc.
ヤシ	サトウヤシ	<i>Arenga pinnata</i> (Wurmb) Merrill
ヤシ	クロツグ	<i>Arenga tremula</i> (Blanco) Becc. var. <i>engleri</i> (Becc.) Hatus.
ヤシ	ボンネッティ	<i>Butia bonnetii</i> (Becc.) Becc.
ヤシ	クジャクヤシ	<i>Caryota mitis</i> Lour.
ヤシ	チャボトウジュロ	<i>Chamaerops humilis</i> L.
ヤシ	アレカヤシ	<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendle.
ヤシ	デュシアナ	<i>Coccothrinax dussiana</i> L. H. Bailey
ヤシ	ココヤシ	<i>Cocos nucifera</i> L.
ヤシ	テーブルヤシ	<i>Collinia elegans</i> (Mart.) Liebm. ex Oerst.
ヤシ	シロロウヤシ	<i>Copernicia alba</i> Morong
ヤシ	ベガニー	<i>Drymophloeus beguinii</i> (Burret) H. E. Moore
ヤシ	ケンチャヤシ	<i>Howea belmoreana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.
ヤシ	ヒロハケンチャヤシ	<i>Howea forsteriana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.

研究活動

ヤシ	マルハウチワヤシ	<i>Licuala grandis</i> H. Wendl.
ヤシ	シナヒロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R.Br.ex Mart.
ヤシ	ヒロウヤシ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.)
ヤシ	オガサワラヒロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart var. <i>boninensis</i> Becc.
ヤシ	トックリヤシ	<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey
ヤシ	トックリヤシモドキ	<i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey
ヤシ	ヴェデリアヌム	<i>Microcoelum weddellianum</i> (H. Wendl.) H. E. Moore
ヤシ	ミツヤヤシ	<i>Neodypsis decaryi</i> Jumelle
ヤシ	キリンヤシ	<i>Phoenicophorium borsigianum</i> (K. Koch) Stuntz
ヤシ	カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis</i> hort. ex Chabaud
ヤシ	ナツメヤシ	<i>Phoenix dactylifera</i> L.
ヤシ	カブダチソテツジュロ	<i>Phoenix reclinata</i> Jacq.
ヤシ	シンノウヤシ	<i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien
ヤシ	サトウナツメヤシ	<i>Phoenix sylvestris</i> (L.) Roxb.
ヤシ	ヒメヤハズヤシ	<i>Ptychosperma elegans</i> (R. Br.) Blume
ヤシ	シュロチクヤシ	<i>Ptychosperma macarthurii</i> (H. Wendl.) Nichols.
ヤシ	カンノンチク	<i>Rhapis excelsa</i> (Thunb.) A. Henry
ヤシ	シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume
ヤシ	フロリダダイオウヤシ	<i>Roystonea elata</i> (Bartr.) F. Harper
ヤシ	サバルヤシ	<i>Sabal</i> spp.
ヤシ	コバナクマデヤシ	<i>Thrinax parviflora</i> Swartz
ヤシ	マニラヤシ	<i>Veitchia merrillii</i> (Becc.) H. E. Moore
ヤシ	タケウマキリンヤシ	<i>Verschaffeltia splendida</i> H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシ	<i>Washingtonia filifera</i> (Linden ex Andre) H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシモドキ	<i>Washingtonia robusta</i> H. Wendl.
ヤシ	アサイヤシ	<i>Euterpe oleracea</i> .
ヤシ	サラックヤシ	<i>Salacca zalacca</i> (= <i>Salacca edulis</i>)
ヤマノイモ	カシュウイモ	<i>Dioscorea bulbifera</i> L.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea cayenensis</i> Lam.
ヤマノイモ	トゲドコロ	<i>Dioscorea esculenta</i> (Lour) Burk.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea opposita</i> Thunb.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea rotundata</i> Poir.
ヤマノイモ	ダイジョ	<i>Disocorea alata</i> L.
ヤマモガシ	マカダミアナッツ	<i>Macadamia integrifolia</i> Maiden et Betche
ユキノシタ	サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. f. <i>plena</i> (Maxim.) C.K. Schneid.
ユリ	キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i> Mill.
ユリ	アロエ	<i>Aloe</i> spp.
ユリ	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i> Blume
ユリ	オリズラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques
ユリ	十二の巻	<i>Haworthia fasciata</i> (Willd.) Haw.
ユリ	ソキアリス	<i>Ledebouria socialis</i> (Bak.) Jessop
ラン	ホウサイラン	<i>Cymbidium sinense</i> (Andr.) Willd.
ラン	オンシジューム	<i>Oncidium</i> spp.
ラン	バニラ	<i>Vanilla planifolia</i> G. Jacks.
ラン	トックリラン	<i>Beaucarnea recurvata</i>
リュウゼツラン	リュウゼツラン	<i>Agave</i> spp.
リュウゼツラン	センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
リュウゼツラン	ベニフクリンセンネンボク	<i>Doracaena concinna</i> Kunth
リュウゼツラン	シロシマセンネンボク	<i>Doracaena deremensis</i> Engl.

リュウゼツラン	ギンヨウセンネンボク	<i>Doracaena sanderiana</i> hort. Sander ex M.T. Mast.
リュウゼツラン	レフレクサ	<i>Dracaena reflexa</i> Lam.
リュウゼツラン	ハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Hahnii'
リュウゼツラン	トラノオ	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Laurentii'
リュウゼツラン	シルバーハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> cv. 'Silver Hahnii'
リュウゼツラン	ゴールドデンハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Golden Hahnii'

1. 指宿植物試験場で保存栽培している主な植物を掲載したが、品種、系統については原則として除外した。
2. 科名、和名、学名については以下の書籍を参考にし、明確な和名が無いものは文献1を主に参考した。

参考文献

1. 塚本洋太郎総監修：園芸植物大事典 1 - 6 巻 小学館. 1990
2. 熱帯植物研究会編：熱帯植物要覧 大日本山林会. 1984
3. 土橋 豊：観葉植物1000 八坂書房. 1992
4. 農林省熱帯農業研究センター：東南アジアの果樹. 農林統計協会 1974

3) 入来牧場

・トカラ馬 (*Equus caballus*)

日本に現存する8種類の在来馬の一つで、1953年9月に鹿児島県の文化財として天然記念物に指定されている。鹿児島大学附属農場入来牧場では、平成22年度現在、推計48頭のトカラ馬を保有している。トカラ馬は完全な野生化状態で導入されており、成熟後の馴致も極めて困難な状況にある。頭数維持は自然交配自然分娩によって行われ、広大な敷地内での自然分娩のため、産子確認も難しい状況にある。また、人間に慣れていない状況下での個体管理は実質不可能なため、入来牧場では放牧群管理による遺伝資源保存のみを行っている。平成22年度、新生トカラ子馬を発見、隔離することに成功したため、現在馴致訓練を行っている。

・口之島野生化牛 (*Bos Taurus*)

日本に現存する2種類の在来牛の一つで、鹿児島県十島村に生息している。口之島野生化牛は絶滅の危機に瀕しているため、鹿児島大学において保護と増殖のための取り組みを行っている。近年の正確な生息頭数は不明であるが、鹿児島大学農学部附属農場では、10頭を保有し、保護している。平成22年度には、純粋口之島野生化牛の雌雄産子を得ており、雌雄とも今後の遺伝資源保護増殖に供試する予定としている。しかし、10頭という閉鎖集団内での近親交配が進んでいるため、新たな血統の導入を早急に検討する必要がある。